

見る楽しみ・買う楽しみ ○ キーワードで解く! 女性像の魅力

# アートコレクター

Art collector

12  
December  
2010  
No.23

定価 1,000 円

絵の中の女性たち 100人  
美しきかな



中特集

銀座ギャラリーズ  
〈X'mas アートフェスタ 2010〉

この秋注目のアートフェア  
ULTRA 003 / プリュス

## ロレンツオ・フェルナンデス展

今年4月のアートフェア東京で、日本初公開となり話題となつたスペインの画家、ロレンツオ・フェルナンデスが、9月、ギャルリーために個展のために来日した。その折にインタビューした内容を織り交ぜながら、彼の作品世界が表す魅力の本質についてリポートしてみたい。

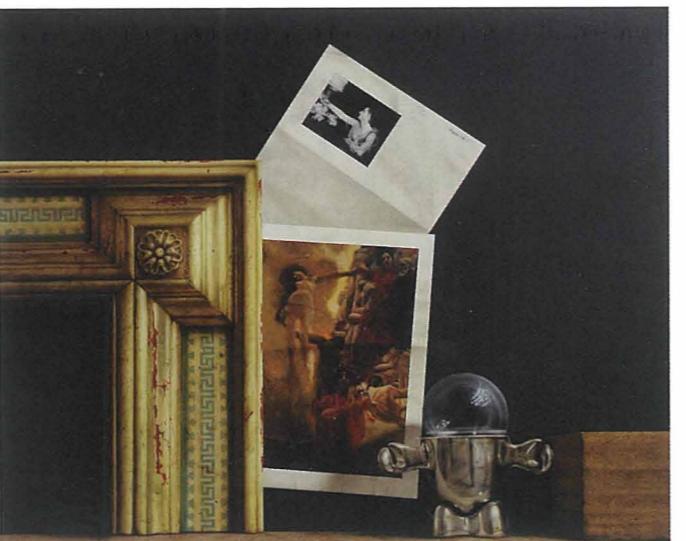
今年4月のアートフェア東京で、日本初公開となり話題となつたスペインの画家、ロレンツオ・フェルナンデスが、9月、ギャルリーために個展のために来日した。その折にインタビューした内容を織り交ぜながら、彼の作品世界が表す魅力の本質についてリポートしてみたい。



「Venus」 70×100cm



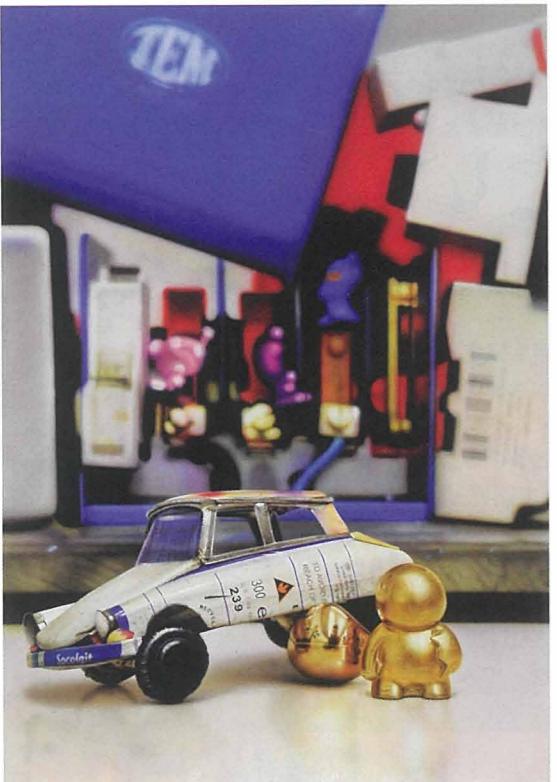
「Tauromaquia」 31.5×42.0cm



「La medicina」 71×100cm



「Religion」 73×100cm



「Viaje imaginario」 100×70cm

——スペインの古典作家では、だれを尊敬していますか？

アーティストは、ウケがよく（大衆的で）、一時的で（その場限りで）、使い捨ての（簡単に忘れられる）、低予算で、大量生産された、若者向けで、気が利いていて、セクシーで、いかさまりの、グラマラスな、「金儲け」という言葉を残している。

そこで注目すべきは、フェルナンデスの絵の中で、引用されたウォーホルの絵がどう見えるか。だ。多くの人は、ハミルトンが言った「オップの定義とは相反した、崇高な印象を受けるだろう。じつはそこにフェルナンデスの芸術觀が秘められているのだが、彼はことさらに主張しようとはしない。絵の解釈は見る人にゆだねる、というのが、フェルナンデスの基本姿勢だ。

「アーリズム」と言っても、写真をなぞり書きしたような絵画からは、フェルナンデスの作品のようないい精神性を感じられない。フェルナンデスの作品には、宗教画に近い氣高さや神聖さが感じられる。その効果を作り出す大切な要素のひとつが光の表現だ。

——スペインの古典作家では、だれを尊敬していますか？

アーティストは、ウケがよく（大衆的で）、一時的で（その場限りで）、使い捨ての（簡単に忘れられる）、低予算で、大量生産された、若者向けで、気が利いていて、セクシーで、いかさまりの、グラマラスな、「金儲け」という言葉を残している。

そこで注目すべきは、フェルナンデスの絵の中で、引用されたウォーホルの絵がどう見えるか。だ。多くの人は、ハミルトンが言った「オップの定義とは相反した、崇高な印象を受けるだろう。じつはそこにフェルナンデスの芸術觀が秘められているのだが、彼はことさらに主張しようとはしない。絵の解釈は見る人にゆだねる、というのが、フェルナンデスの基本姿勢だ。

「アーリズム」と言っても、写真をなぞり書きしたような絵画からは、フェルナンデスの作品のようないい精神性を感じられない。フェルナンデスの作品には、宗教画に近い氣高さや神聖さが感じられる。その効果を作り出す大切な要素のひとつが光の表現だ。

——現代社会はインターネットの普及などによって、膨大な情報が飛び交っている。そういう混

F ベラスケスです。スペインでは、絵を学ぶことと云われています。ベラスケスはアートの神様であり、彼の光の表現は、とても勉強になります。

——確かにベラスケスの光の性質と共に通していますね。とても精神的な光が画面に満ちています。

F ベラスケスを真似しようとすると、難しいけれど、アイデアやインスピレーションはもらっています。それを自分のスタイルに合つたようにペイントするのです。

さらに見ていくと、モチーフの置かれた空間の奥行きが、現実ではありません。それが、絵の中での視覚の冒險を試みているのだ。

モチーフに込められたメッセージもまた興味深い。たとえばカリメロやねずみ、ミッキーマウスなどには、大人になることを拒む少年の心や、世の中の将来に対する危機感が表徴される。

——現代社会はインターネットの普及などによって、膨大な情報が飛び交っている。そういう混

日本でも、若い作家の写実絵画がブームの傾向にあるが、あらためて絵画の在り方を考えさせられる、貴重な展覧会だった。

(9月10日～10月2日／ギャルリー1たまなが東京)

（編集部）

来日したフェルナンデス氏。

日本でも、若い作家の写実絵画がブームの傾向にあるが、あらためて絵画の在り方を考えさせられる、貴重な展覧会だった。

(9月10日～10月2日／ギャルリー1たまなが東京)

（編集部）

来日したフェルナンデス氏。